新潟ビルサービス第60期を迎えて

明けましておめでとうございます。

昨年は一昨年に引き続きコロナウイルス一色の1年でした。

年初1月の第3波ではお正月や冬休みに非常事態宣言が出て外出自粛となり、私も久しぶりに、どこにも行かない寝正月となりました。

5月のゴールデンウィークには第4波が到来、新潟市や長岡市に初の飲食店への営業時間短縮要請が発出されました。新潟古町は人っ子一人いない状態で、まるで映画のセットを見るようでした。

4波の後、ワクチンが日本国内に入ってきて、これで2020オリッンピック・パラリンピック大会も無事開催できるかと思っておりました。しかし感染力が強くなったデルタ株の登場で状況が一変。オリンピックも無観客となり、当社が準備していた警備の派遣隊も、結局は派遣中止となってしまいました。

その後、新規感染者が新潟県でも1日三桁まで上昇し、また2回目の飲食店への営業時間短縮要請が発出され、公共施設でも休館指示がありました。当社が指定管理をしている体育施設、文化施設でも休館となり、収入が無くなる2週間となりました。

そして10月以降はワクチン接種が進み、新規感染者が急速に減少し、落ち着きを取り戻してきたところです。

この約2年間、通勤中や仕事中の感染リスクが高い中、エッセンシャルワーカー（**社会生活に必要な職業の従事者**）として、全社員に出社をしていただきました。この場をかりて**社員の皆様に御礼申し上げます。**また皆様を職場へ送りだしていただいたご家族の皆様には、言い知れぬ不安や心配もあったと思います。しかし社会の衛生を守り、安全を守る者として、私たち新潟ビルサービスが最前線を守っているとの認識で取り組んでまいりました。

さて、昨年10月1日より本年9月30日までが新潟ビルサービスになってからの60期目となります。昭和38年（1963年）4月1日に前身である新潟ビル清掃社から清掃業務だけではなく設備、警備業務を積極的に伸ばすために、株式会社新潟ビルサービスと社名を変更しスタートしました。

第1期は4月1日から9月30日までの半年ですが918万円の売上で、主なお客様としては、第四銀行本店や新潟大学医歯学総合病院の清掃業務を行っていました。2期（1964年）の売り上げは1年間で2226万円でした。3期（1965年）には従業員会である親和会が63名で発足しています。

以降、高度経済成長も重なり新潟にもどんどんビルが建築され新潟ビルサービスの売り上げも毎年、前年を上回る成績を出していました。

しかし、1991年から1993年にはバブル経済崩壊が起こり、3年後34期（1996年）には33年間売上が好調であった新潟ビルサービスにも暗い影を落とし始めます。33期（1995年）の売上は29億4267万でしたが34期（1996年）29億1405万と初めての前年対比マイナスとなりました。

そこから7年間、41期（2003年）に至るまで売上はあれよあれよという間に12%減の25億6573万まで落ちていきました。その41期（2003年）に私は入社いたしました。

そして、42期（2004年）には、県内初の指定管理者の募集がありました。

今までの金額のみを書く入札方式ではなく提案書作成し内容と金額で評価してもらうプロポーザル方式となり、当時上越所長であった私は、営業開発部長であった現澤田専務と共に通常業務をこなしながら深夜に提案書を作成し、なんとか提出することができました。

当時は夢中で解りませんでしたが、今になって思えば営業の仕方を転換したのだと思います。そこから58期（2020年）には45億8856万の売上となり16年間で170%の伸びとなりました。残念ながら昨年59期（2021年）で17期続いた売り上げの伸びは、止まってしまいました。

今期60期（2022年）は現場でお客さんに素晴らしい仕事を提供し、それをサポートする本社、支店の担当者がお客様と現場の調整と橋渡し役をおこない、新しい成長へとつなげていきたいと思います。

昨年から社員手帳の2，3ページに「新潟ビルサービスの志（こころざし）と載っているのはご存じでしょうか？

これは私が社長に就任した時にこれからの会社の有り様、方針を示したもので全社員に理解してもらいたいものです。伝えたい相手別に章立てをしており、内容の詳細解説については「お客様へ　は爽No.159」「社員へ　爽No.183」「新潟へ　爽No.187」をご覧ください。入社前で、その「爽」持って無いという方は各担当者にご連絡ください。

一昨年から1年間かけて、教育研修室で全現場の研修が終了しました。今期60期より昇給や賞与の算定方法を変更させていただいております。まず勤務態度、作業品質を評価し基礎点を付けます。そして志（こころざし）の社員への中で「仕事は大変だけど明るく仲のいい職場を作ります。」＝明るく仲の良い職場作りに貢献していたらプラス点。

「上から下まで情報が通った組織を作ります。」＝報告、連絡、相談が上司及び部下にきちんとできていたらプラス点。

「必要な資格取得のチャンスを提供します。」＝資格取得など自己成長に努力が見られるとプラス点という形に点数を加算して評価する方式に変更しております。

今年は60期（2021年）から70期（2031年）へと向かう新しい年です。ぜひ私と共に新潟ビルサービスの志（こころざし）を達成するため、皆様一人ひとりの力を貸してください。

私たち一人ひとりの力は小さいですが、千7百人の力は決して小さいものではありません。皆が力を合わせた千700人と、それぞれ勝手な方向を向いた千700人では大きな違いがあります。

本年も力を合わせていきましょう。

代表取締役社長
鈴木謙太

